



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 No 190

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ:鳥 ホオジロ:木 イチョウ



機能回復訓練に好評

老人保健事業（40歳以上を対象）の一環として、町では機能回復訓練をさる4月より老人福祉センターで実施しております。

脳卒中の後遺症、関節リウマチなどで身体に障害のある方の機能低下を予防する基本動作（体操、歩行など）の回復訓練として喜ばれています。



60/6月号



活力ある郷土をつくろう なんでも挑戦・みんなが参加

新ひむかづくり運動は、県民の意欲と連帯によって、住みよい地域づくりを進めるもので、置県百年を記念してスタートしました。これは人づくり、心づくり、街づくり、物づくりを身近なところから、またできることから誰もが取り組める

新ひむかづくり運動

新しい県民運動です。この運動の主役はもちろん県民の一人ひとりが主役です。二十一世紀に向おうとしている今、私たちの心をひとつにして郷土の活性化をはかろうというものです。スタートは、まずあなたから、次に家族へ、知人へ、地域へ——小さい個人からはじめる大きな輪づくりです。このためには、なんでも挑戦する意欲とみんなが参加していく連帯感——これが運動の心です。住みやすく活力にあふれた、新しい郷土づくりをめざすいちばんの基本精神です。

新ひむかづくり 町民会議設立 総会を開催

私たちの町、三股町を考えると、青少年の健全育成、環境の美化、経済の活性化など、自らが立ちあがらなくてはならない課題が山積しています。これらの課題を解消するためには、まず「自分たちの郷土は自分たちの手で築きあげる」といった、町民一人ひとりの自覚と地域が一

議長に山元忠博氏 副議長に中西重光氏

本年の第二回町議会臨時会は、さる五月一日午前十時開会され、正副議長の選挙、および常任委員会、各種委員の選任などが行われ、新しい議会構成が決まりました。



監査委員 大盛 益夫氏 副議長 中西 重光氏 議長 山元 忠博氏

そのほか、専決処分付した税条例の一部改正と五十九年度一般会計補正予算の報告及び承認を求めました。ほかに六十年年度一般会計補正予算案(第一号、字の区域及び名称の変更、人権擁護委員の推せんについての諮問など)が上程され、原案どおり可決成立しました。なお、議長、副議長及び各常任委員会の委員構成は、次の通り決まりました。

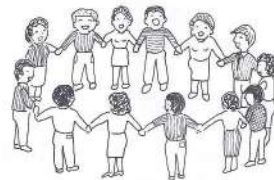
- 議長 山元 忠博氏
- 副議長 中西 重光氏
- 監査委員 大盛 益夫氏
- 総務常任委員会
 - 高畑信雄
 - 内村利男
 - 大盛益夫
 - 有村三千男
- 文教厚生常任委員会
 - 宮里 正
 - 藤木次男
- 中西重光 下沖秀行
- 野口英治
- 経済常任委員会
 - 佐沢和彦
 - 下沖常一
 - 馬渡平男
 - 茨木重則
- 建設常任委員会
 - 吉行 集
 - 尾崎秀行
- 鶴田正男 山領征男

敬称略

差別のない明るい町づくりをめざして

* 同和問題啓発推進協議会を発足

同和問題に対する町民の正しい理解と認識を高めようと、町同和問題啓発推進協議会は、さる四月二十二日中央公民館で設立総会を開きました。これは、私たちが人間として「生きる権利、生活する権利、働く権利、教育を受ける権利」など、人として誰もが持っている基本的な人権を侵すことのないよう、お互いに尊重し合い「差別のない明るい町づくり」をめざして、行政と町民が力を合わせ、同和問題を正しく理解しようというものです。この協議会は、町議会議員をはじめ、地区公民館長、各種団体、町執行部などの団体代表者三十六名で構成されており、総会では、規約の説明、委員への委嘱状交付などが行われたあと、今年度の事業計画並びに予算が審議されました。今年度の事業では、前段でも述



基本的人権を守ろう

みんなの迷惑 近隣騒音

近隣騒音には、人の話し声や足音、掃除機や洗濯機の音、さらには楽器の音など、日常生活の中からどうしても出てしまう音も含まれています。最近の家庭には、ステレオ、テレビ、楽器など、音の出るものがたくさんあります。音を出す時間がポリウムに気を配り、一人一人が近隣騒音の発生源にならないようにして、他人に迷惑をかけるい生活を心がけたいものです。

1人ひとりの意欲と みんなの連帯ですすめよう

◎人づくり

- たえば……
- 自立する心を高めよう
- 学習につとめ生きがいをもとう
- スポーツに親しむ運動など



◎心づくり

- たえば……
- 郷土を知り誇りをもとう
- みんなで協力し助けあおう
- 協力、助けあい運動など



◎街づくり

- たえば……
- むらやまちをきれいにしよう
- 地域の自然を大切にしよう
- 行事に参加する運動など



◎物づくり

- たえば……
- 地場産業をおこそう
- 生産のための学習を進めよう
- グループ生産学習運動など



町立病院だより

町立病院長の森彦彦氏と内科医師の楊成望氏が三月末で退職されたのに伴い、後任の院長に叶昭人氏(三十八歳)、内科医師に前原忠彦氏(三十三歳)、歯科医師に中条伸哉氏(二十七歳)が赴任されました。

町立病院長に叶昭人氏
内科医師に前原忠彦氏
歯科医師に中条伸哉氏
が着任

町立病院長の森彦彦氏と内科医師の楊成望氏が三月末で退職されたのに伴い、後任の院長に叶昭人氏(三十八歳)、内科医師に前原忠彦氏(三十三歳)、歯科医師に中条伸哉氏(二十七歳)が赴任されました。



歯科医師 中条 伸哉氏 内科医師 前原 忠彦氏 院長 叶 昭人氏

叶氏は、鹿児島県国分市出身で、昭和五十五年三月熊本大学医学部卒。同大研究所、鹿大医学部附属病院、第一外科に入局。小山市立病院、国立指宿病院、江南病院、野田町立病院などに勤められた方です。尚、本町には四月一日より勤務されています。

前原氏は、お隣りの都城市出身で、昭和五十六年三月徳島大学医学部卒。その後、宮医大第一内科に入局。県立宮崎病院、江南病院、県立日南病院などに勤められた方です。尚、本町には六月一日から勤務されることになりました。

中条氏は、お隣りの都城市出身で、昭和五十八年三月福岡県立九州歯科大学卒。長崎市橘歯科医院に勤められた方です。尚、本町には四月一日より勤務されています。今後は、住民の健康管理と公共福祉の向上にご活躍くださるようよろしくお願いいたします。他方、三月末で退職された前院長の森先生は、昭和五十年から十五年間にわたり病院長、また内科医師として、一方、楊先生は、昭和五十五年から四年余り内科医師として、それぞれ町民の健康管理と疾病、予防並びに治療などを、公共福祉の向上に多大の貢献を賜りました。長い間、誠にありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

子どもがひきつけているのを見るのは、とても恐いものですが、ひきつけそのものは、たいして危険ではありません。たいいていのひきつけは、手当をしてもしなくても、ほんの短い時間でおさまるからです。子どもは、しばしば、熱の出はじめにひきつけるものです。ひきつけたら衣服をゆるめ、手足を自由に動くようにして、顔を横にむけて吐きやすいようにします。それから頭を冷やして寝かせておきます。口に割りバシなど入れる必要はありません。「最初に舌をかまなければ、あとは、もうかまわないからです。長い時間つづいたように思っても、たいていは数分間で自然におさまっているものです。

北会 都医師 熱でひきつけたら

「ひきつけても慌てるな」と申しましたが、これはあくまでも、今まで元気だった子どもが突然ひきつけた場合のことです。容体が悪くて、数日前から吐いたり、下痢したり、或いは高熱がつづいて衰弱したり、そのあぐくにひきつけたという場合は、ことは重大。入院治療が必要ですよ。

貴重な一滴を大切に
水道週間
6月1日〜7日

家庭教育 学習意欲の基礎は 家庭環境から

人はだれでも生涯にわたり、家庭や学校や社会といった場であるいろいろなことを体験し、そこから多くのことを学びながら成長していきます。人格の形成にとって、どのような体験をし、どのような学習をするかが、きわめて大事なことは言うまでもありません。ですから、家庭、学校、社会のそれぞれの場が、人間性豊かな人格形成にふさわしい環境となることこそ、生涯学習の基本と言えます。

おどなりにできない 乳幼児の家庭教育

最近、家庭教育の大切さが再認識されています。かつて、生まれたばかりの赤ちゃんは目も見なければ耳も聞こえないと言われていました。しかし、今では医学や心理学の研究がたいへん進み、人間は胎児の時から視力も聴力も働いていることが証明されています。また、乳幼児の時期の育ち方や体験が、その後の身体の発達や性格の形成などに重要な意味をもっていることも明らかになっています。「三つ子の

魂百まで」が科学的に裏づけられたというわけです。

このように考えみると、家庭教育は、乳幼児の時期からおどりにできないことが分かります。子供が人間性豊かな人格の持ち主となり、生涯にわたって学習しようとする意欲を持ち続けるかどうか——これは「家庭教育」のあり方によるところが大きいのです。

うっとうしい梅雨どきは、かびのシーズンです。とはいえ、最近では、冷蔵庫の普及やアオのかびを見ることは少なくなりました。

かつては、梅雨の終わったあと、夏の土用(立夏の前十八日間。七月二十日ごろ入り)には、土用干し、虫干しなどといって、衣類や書物を風にあて、日に干す習慣がありました。

戸障子を開けはなし、綱を張って衣類を満庵跡のように



歳時記

か び

干したりしたものです。最近では、こうした光景もあまり見られなくなりました。それにしても、かびとわたしたちの暮らしにはいろいろな縁があります。例えば、酒みそ、かつおぶし、抗生物質などもある種のかびを利用してつくられている。かびにはいろいろな種類があり、人間にとってマイナスになるものもあれば、プラスになるものもあるわけです。ところで、健康といえは、六月四日から十日までは、「歯の衛生週間」です。統一標語は「よい歯でよくかみ、よいからだです。平均寿命が延びた今日、一生自分の歯で食物をかむことができるように、歯をもっと大切にしたいものです。

寝たきり老人の看護法 相手の身になって考える

年をとって、ただでさえ弱った心や体には病気がおいかぶさり、寝たきりのお年寄りの胸中には不安と救しさが渦巻いています。つがひ話も愚痴っぽくなったり、繰り返しが多くなったりしますが、周

雨の日は危険がいっぱい

雨の日は、ドライバー、歩行者ともに交通事故の危険性が高くなります。

ドライバールの視界がワイパーでふかれる範囲に限られたり、ガラスが曇ったりしますので、前方の確認は暗れの日には比べて難しくなります。また、路面が滑りやすくなっていますので、急ブレーキをかけてもスリップして思うように止まれません。

歩行者はというと、雨のときは傘などを持っていきますので、動きが鈍くなったり、足元に気をとられ、車に気づかなかつたりします。ドライバールの皆さん、雨の日に歩行者のそばを通るときは、必ずスピードを落とし、走りましょう。また歩行者の皆さんは、なるべく目立つ色の服装をし、無理な横断はしないようにしましょう。

町の話 話題



お金を大切にしよう
貯金箱を配付

五月九日、町内の小学校一年生三百二十一名に貯金箱を配付しました。
これは児童たちにお金や物に対する正しい理解に立つて、それらを大切に計画的に活用する習慣



受も長うため、金銭教育の一環実施しているもので

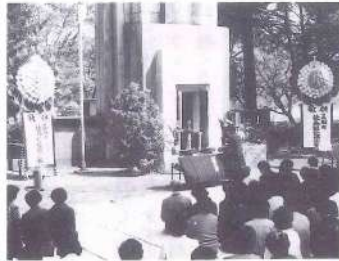


円滑な徴収事務を図るため
研修会を開催

町では、今年度の支部長各位に行政事務を理解していただくこととさる四月二十一日支部長研修会を開きました。
研修会には、九十六支部が参加。町長の挨拶に引き続き、町税、国民健康保険、国民年金、水道事業などの行政事務について各課長が説明し、今年度の納税等徴収事務が円滑に図られるようご協力をお願いしました。

しめやかに戦没者慰霊祭

町社会福祉協議会（会長桑畑三夫）が主催する戦没者慰霊祭は、四月十九日忠霊塔（山王原）で式により行われました。
先の大戦で亡くなられた四百五十八柱の霊を慰めるもので、会場には約二百名が参加。まず一分間の黙とうを捧げた後、読教が流れるなか遺族や関係者が次々と焼香を捧げました。
その後、会長はじめ来賓各位の慰霊の辞が述べられ、御霊の安らかな眠りを祈りました。都式終了後はアトラクション。都



城自衛隊の音楽隊による演奏、民謡、軍歌、演歌など）に参加者は心を和ませていました。

自給飼料生産向上をめざして
トウモロコシ栽培試験



町農畜産課では、さる四月十七日夢池地区の二十アールの畑に畜産農家約八十名を招いて、飼料用トウモロコシ新品種（五種類）の栽培と比較試験の播種作業を行いました。
栽培圃場では基肥の施しから、播種、覆土、除草剤の散布に至るまでの一連の播種作業に熱心に取り組みしていました。
この新品種は播種が少なくても収量が多く、また倒伏にも強いことなどから自給飼料の生産向上に大きな期待が寄せられています。尚、今後は追肥から収穫、貯蔵、給与までの現地指導が行われます。

青年年キャンペーン隊が来町

「国際青年年」にちなんで青年年の意識高揚を図るため、県国際青年年推進団体の一行が五月七日本町に訪れました。
これは国連の定めた「参加、開発、平和」というテーマのもとに、次代を担う青年に課せられた役割と課題を認識し、その課題の解決に向けて積極的な役割を果たし地域社会、国、また世界の平和に貢献することを目的としています。
キャンペーン隊の一行は午前十一時二十分役場に到着。玄関前において町長が激励した後、知事からのメッセージの手



交やのぼり、ポスター等が町長に手渡され青年年への理解と高揚を図りました。



東原Aと九地区が優勝
壮年ソフトボール大会

四十歳以上を対象とした壮年ソフトボール大会は、五月十二日旭ヶ丘ソフトボール場を中心に開催され、東原Aと第九地区が優勝しました。
大会には十八チームが参加。それぞれリーグと決勝トーナメント戦で行われ、どのパートも熱戦が繰り広げられました。
尚、成績は次のとおり
優勝 二位
四十歳代 東原A 仲町
五十歳代 九地区 八地区

緑に親しもうと樹木に
札を掲げ看板を設置

町林業研究グループ協議会（会長政野孝思・会員十名）では、先程上米地区公園内の樹木に札を掲げ公園入口に看板を設置しました。当研究グループは、林業後継者として森林保育造成や森林事業振興のため活発な活動を行っています。
公園には、サクラ、キンモクセイなどなど、四季折々の花が咲きほころび、また秋には紅葉の美しい公園であることから、訪れる人たちに樹木名を一本でも多く覚え



てもらい、緑に親しもうと樹木に札を掲げ、公園入口に自然を大切にしよう看板を設置したものです。

技術の向上をめざして講習会

町ソフトボール協会（会長野中功・会員六百五十七名）では、協会発足十周年を記念し、会員の技術向上を図るべく、さる三月三十一日旭ヶ丘ソフトボール場で技術講習会を開きました。講習会には中学生婦人、一般男女と約二百名が参加。県ソフトボール協会より岩切真之さんら四名を講師に招いて、ウイニング、守備など、ボールの握り方から練習方法まで基本的な技術指導を受けました。今後の技術向上が期待されます。

今月の主な行事

おしらせ



日	行事名	場所
五日(木)	日本橋炎注射	勤労者体育センター
六日(金)	リハビリ教室	老人センター
七日(土)	リハビリ教室	老人センター
十日(月)	持込入場相談	老人センター
十一日(火)	胃がん検診四十歳以上	武道体育館
十四日(金)	母子検診	中央公民館
十五日(土)	リハビリ教室	老人センター
十八日(月)	婦人検診	武道体育館
十九日(火)	一歳六月月検診	中央公民館
二十日(水)	日本橋炎注射	勤労者体育センター
二十一日(木)	リハビリ教室	老人センター
二十二日(金)	リハビリ教室	老人センター

今月の納税 県町民税 1期

7月は保険税
第1期分の納期です

クレジット社会を 上手に生きる

いまや日本は、アメリカ、カナダなどとともに「クレジット王国」といわれるほど利用者がたくさんいます。同時にクレジットによるトラブルも年々増えており、なかでも一度に複数のクレジットを利用して、その結果、返済できなくなる人たちが、いわゆる多重・多額債務者が急増しています。裁判所に自己破産の申し立てをする人も年々増え、昭和五十八年は前年の六倍にもなっています。

クレジットは、その場で現金を使わずに商品やサービスの利用ができるという便利な面があります。しかし、いつかは代金を払わなければならないことを、くれぐれも忘れないでください。上手にクレジットを利用し、便利な生活を送るためにも、まず正しいクレジットの知識を得て、契約に強くなりましょう。

あなたの住んでいるところは 安全ですか

六月は「土砂災害防止月間」です。植木鉢とか庭に土を盛り上げ、そこに水を注いでみましよう。はじめは、水がみるみるうちにしみ込んでいきます。しかし、水を含みきれなくなると、土は崩れ始め

ます。土砂災害はこうして起こるのです。雨がしばらく続いたある日、突然に――。

地面が崩れるとはふだんでも思っていません。しかし、台風や梅雨などで雨が一時に多量に降ると、ふだんは丈夫そうに見えるものが、崩れ始めます。雨で地盤がゆるむためです。

一時的に雨が強く降ったり、長く続くときには、地すべりや土石流、がけ崩れなどが発生しやすくなりますので十分注意してください。

水の事故に 気をつけよう

水がぬるみはじめる六月から八月にかけては例年、水難事故が発生しています。

大切な子供を、親の不注意で水の事故に遭わせないように、次のような点に注意しましょう。

○子供たちだけで水泳や水遊びに行かせない。行くときは、保護者や大人が必ず同伴しましょう。

○雨降りの後などで川や用水路が増水しているときは、子供たちを近づけないよう注意する。

○水辺で遊んでいる子供を見かけたら、声をかけ、安全な場所で遊ばせるようにする。

愛のご寄付



三股町社会福祉協議会では、忌明寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

昭和六十年五月一日から
昭和六十年五月二十日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
神吉八重子(夫)	善三郎	仲町	二万円	
福永寿子(夫)	康秀	釜池	二万円	
小牧善裕(叔母)	美代	樫山	一万円	
大脇安夫(母)	ナミ	中米	三万円	
中西勝(母)	ヤエ	上米	三万円	
松山澄典(母)	ヒデ	仲町	五万円	
福留徳光(母)	キノ	前町	一万円	

三股町の人口

昭和60年5月1日現在

人口18,572人	出生22人
男 8,771人	死亡11人
女 9,801人	転入171人
	転出163人
世帯数5,850戸	
前月比+19人	